

平成 30 年第 9 回経済財政諮問会議

第 18 回未来投資会議

議事要旨

(開催要領)

1. 開催日時：平成 30 年 6 月 15 日 (金) 17:33 ~ 17:52

2. 場 所：官邸 4 階大会議室

3. 出席議員：

議長	安 倍 晋 三	内閣総理大臣
議員	麻 生 太 郎	副総理 兼 財務大臣
同	菅 義 偉	内閣官房長官
同	茂 木 敏 充	内閣府特命担当大臣 (経済財政政策) 兼 経済再生担当大臣
同	野 田 聖 子	総務大臣
同	世 耕 弘 成	経済産業大臣
同	黒 田 東 彦	日本銀行総裁
同	伊 藤 元 重	学習院大学国際社会科学部教授
同	高 橋 進	株式会社日本総合研究所 チェアマン・エメリタス
同	新 浪 剛 史	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長

【未来投資会議議員】

林 芳 正	文部科学大臣
加 藤 勝 信	厚生労働大臣
松 山 政 司	内閣府特命担当大臣 (科学技術政策)
梶 山 弘 志	内閣府特命担当大臣 (規制改革)
金 丸 恭 文	フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長 グループ CEO
五 神 真	東京大学総長
竹 中 平 蔵	東洋大学教授、慶應義塾大学名誉教授
中 西 宏 明	一般社団法人日本経済団体連合会会長、 株式会社日立製作所取締役会長 執行役
南 場 智 子	株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役会長
越 智 隆 雄	内閣府副大臣

(議事次第)

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(案)について
- (2) 「未来投資戦略 2018」(案)について

3. 閉 会

(資料)

- 資料 1 内閣総理大臣からの諮問第 39 号について
- 資料 2 「経済財政運営と改革の基本方針 2018」
- 資料 3 - 1 「未来投資戦略 2018」概要
- 資料 3 - 2 「未来投資戦略 2018」本文(第 1 「基本的視座と重点施策」)
- 資料 3 - 3 「未来投資戦略 2018」本文(第 2 「具体的施策」)
- 資料 4 「革新的事業活動に関する実行計画」

(概要)

(茂木議員) ただいまから経済財政諮問会議・未来投資会議合同会議を開催したい。

「経済財政運営と改革の基本方針2018」(案)について

(茂木議員) 本日、最初の議題は、経済財政運営と改革の基本方針、いわゆる「骨太方針2018」についてである。

資料 1 にあるように、総理から諮問をいただいている。また、骨太方針の副題については、総理とも御相談をし、「少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現」としている。

それでは、答申案について、越智副大臣から説明させていただく。

(越智内閣府副大臣) 資料 2 をご覧いただきたい。本日は、前回の諮問会議での議論や与党での審議を踏まえた主な変更点を説明する。

第 2 章、11 ページ上段、幼児教育の無償化に当たっても、保育の質の向上が重要であることに鑑み、認可外保育施設の認可施設への移行促進策の強化を加えた。14 ページ中下段、実践的技術者を養成するに当たり、高等専門学校的重要性に鑑み、記述を書き加えた。17 ページ下段、多様な人材の活躍について、女性、高齢者雇用に加え、障害者雇用が重要であることに鑑み、「障害者雇用の促進」の記述を起こした。20 ページ中下段、「Society 5.0」に向けたフラッグシップ・プロジェクトについて、企業の E S G 投資が重要であることに鑑み、記述を加えた。22 ページ中下段、イノベーションについて、非連続的なイノベーションを生み出す研究開発が重要であることに鑑み、I m P A C T に関する記述を加えた。24 ページ上段、「働き方改革の推進」について、中小企業に対する丁寧な支援が重要であることに鑑み、記述を加えた。27 ページ上段、新たな外国人材の在留資格について、外国人材に求める日本語能力基準につき、N 4 相当との記述を、ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力を有することが確認されるとの記述に書き換えた。28 ページ中下段、在留管理体制の強化が重要であることに鑑み、記述を追加した。加えて、47 ページ中上段に、このたび目黒区で発生した事案をはじめとして、児童虐待によって多くの幼い命が奪われていることに鑑み、こうしたことが繰り返されないよう、児童虐待防止対策の強化につ

いて記述を加えた。

第3章、48ページ中上段、「経済・財政一体改革の中間評価」に言及するとともに、54ページ中段、「社会保障」における「基本的考え方」の記述を充実させている。

（茂木議員） この骨太方針に関しては、経済財政諮問会議、また、未来投資会議でも、これまでさまざまな御意見をいただいていたところだが、ただいま説明のあった答申案について、御発言をいただきたい。

（新浪議員） 本年度の骨太方針策定に当たり、関係府省庁の御尽力に感謝する。

持続可能な社会保障の実現のためには、第1に、見える化でわかってきた、政策上の効果が低いものや、本来受益者が負担すべきものについて、歳出を大幅にカットしていく必要がある。第2に、Society 5.0を推進し、AIやデータヘルスなど、技術革新を社会保障制度に徹底的に織り込んでいく必要がある。

とりわけ、認知症や生活習慣病などの、未病、重症化予防によって生産労働人口の増加と社会の生産性向上を目指していくことが必要。社会保障においても、経済成長と財政健全化の両方を目指していくべきであり、潜在成長率も向上させながら、持続可能な社会保障を実現することが必要。国保の普通調整交付金に関して大変な御尽力をいただいた。地域医療構想の実現のため、2021年度までに抜本的に交付金の配分スキームを見直すべく、今後もより具体的な議論をしたい。これらにより、国民に社会保障の持続性に安心感を持ってもらい、可処分所得を増やす取組をより進め、消費を促していくことが必要。

2019年10月の消費税率引上げに関して、消費税率引上げの真のメリットを国民に感じてもらえるよう、着実に取り組んでいただきたい。現在、将来不安のため、現役世代の消費性向が下がり、貯蓄志向が増えている。デフレから完全脱却すべく、今後、現役世代の消費と貯蓄の状況をしっかり分析していく必要がある。

外国人材について、歴史的にも安倍政権のレガシーの1つとすべく、新たな在留資格を経済発展に寄与させるよう、大胆に推進していただきたい。

本方針を踏まえ、年末までに新たな改革工程表を策定することとした。引き続き、経済・財政一体改革委員会にて、有識者からの多面的な意見をいただきながら、関係府省庁と連携して取り組んでいきたい。

（高橋議員） 私からは、財政健全化への取組について、3点、申し上げたい。

第1に、今回の骨太の方針では、2025年度にPB黒字化を目指すことを掲げたが、重要なのは、その着実な実行・実現である。目安に数値を挙げていないから財政規律が緩んでいるとの報道があったが、私は全くそうは思わない。数字ありきではなく、むしろ、予算の質を重視し、予算の成果を評価し、事後検証をしっかりとっていくことこそが重要だと思う。諮問会議で引き続き議論を進めていきたい。

第2に、民間議員から提案した2019年10月の消費税率引上げに向け、2019年度と2020年度の当初予算で、目安とは別途、需要変動への機動的対応策を講じることが明記された。この消費税率引上げの影響を乗り越えなければ財政健全化も困難。賃金や最低賃金の継続的な引上げを含め、可処分所得を引上げ、消費と投資を喚起し、経済の好循環を拡大していくことが重要。

第3に、今後3年間のうちに社会保障の総合的かつ重点的に取り組むべき施策を取りまとめ、早期の改革を具体化し、社会保障制度の基盤強化を進めると明記された。新浪議員からもお話があったが、社会保障制度は多くの国民の関心事であり、関係者

も多岐にわたっている。諮問会議では、エビデンスを広く提示しながら、引き続き議論を進めていくことが必要であると考えている。

（茂木議員） 着実に実行していく。そして、その結果について検証していくことが重要だと御指摘いただいたが、先ほど申し上げた副題の中でも、「持続的な成長経路の実現」、このような意味も含めて、こうしたサブタイトルをつけさせていただいた。

よろしければ、お手元の案を経済財政諮問会議の答申として決定したい。

（「異議なし」と声あり）

（茂木議員） それでは、本案を答申として決定させていただく。

「未来投資戦略2018」（案）について

（茂木議員） 2つ目の議題「未来投資戦略2018」に移りたい。改めて越智副大臣から取りまとめ案について説明をさせていただく。

（越智内閣府副大臣） 本日は、前回の未来投資会議での議論や与党での審議を踏まえた主な変更点を説明する。

資料3-2「第1 基本的視座と重点施策」、2ページ下段、日本の目指す経済社会システムとして、「Society 5.0」の実現とSDGsへの寄与について加えた。10ページ下段、骨太と同様、エネルギー転換・脱炭素化に向けたイノベーションの1つ目のポツの中段、企業のESG投資が重要であることに鑑み、記述を加えた。エネルギー転換・脱炭素化における次世代自動車の重要性に鑑み、その普及について記述を加えた。11ページ上段、FinTech/キャッシュレス化の3つ目のポツ、簡易かつ高セキュリティな決済の仕組みの確保について記述を加えた。

資料3-3「第2 具体的施策」、28ページ上段、「医療機関等における健康・医療情報の連携・活用」の3つ目のポツの最後、「保険医療情報ネットワーク」における介護情報の提供について記述を加えた。69ページ中段、「生産現場の強化」、農福連携の推進や、女性農業者の出産・育児・介護等との両立を目指した取組について記述を加えた。

（茂木議員） 駆け足で説明をしていただいたが、内容については既に何度も御議論いただいていることかと思う。変更点だけ、かいつまんで御説明申し上げた。

それでは、未来投資戦略の取りまとめ案について、御発言、御意見をいただきたい。

（中西議員） 本案は未来を見据えたわかりやすい形にできてきたと思う。本案をもとに経団連もリーダーシップを発揮していきたい。政府の観点からは、省庁横断的な活動が非常に重要。産業についても、業界ごとばらばらにやっていたはだめ。産官学が本当に連携をとって進めていくことが必要で、力を合わせて日本の活力を盛り上げていきたい。

経団連の会長になってから再三指摘されたが、国民の理解がまだまだ届いていない。もっとしっかり理解していただけるよう、色々なアクティビティーが必要という方向性が明快になったことは、大変意義がある。

（茂木議員） 省庁横断、そして、産業横断、さらには産学官を連携した取組をしっかり進めていきたい。この未来投資戦略でも産官協議会、もちろんアカデミアの皆様にも御参加いただくが、これを今後、立ち上げることにしているので、またよろしく

お願いしたい。

(金丸議員) 「未来投資戦略2018」をチャンスと危機の2つの思いからまとめることに参画した。一言、意見を述べる。

最新の技術革新をいかに早く社会実装し、利便性や生産性を非連続に向上させるといふイノベーション競争が、第4次産業革命以降のグローバル競争の新しい舞台。技術革新は強いものにのみ有利に作用するのではなく、一見、条件不利なものがハイテクを有効活用すれば、条件不利を希少価値に転換させることが可能。

世界最大のオープンソースが格納されているサイトGitHub上のプログラムは無料であり、人工知能ソフトも、世界中どこでもインターネットさえ接続されていればダウンロードできる。持てる者と持たざる者の格差より、利用・行動するかしないかが格差を生み出す時代と言える。

霞が関にあるほとんどの制度は、インターネットやスマホ時代も、コンピューターが目や耳の機能を有することも、前提にしていない。大きな時代の変化の前に、20世紀の常識はむしろ非常識。法制度が日本人の本来有する創造性や変化対応力を阻害してはならない。スピードが勝負。失敗から学び、どんどん前進していくことが重要。規制のサンドボックス制度は、まさにその考えの先陣を切るものである。「未来投資戦略2018」で取り上げた産官協議会における次世代モビリティ、次世代ヘルスケアは、どの重点分野における取組もまずやってみる、やりながら社会に実装するという考え方で進めていってほしい。世界と未来を見据え、制度も変えていってほしい。

また、AI人材に関する取組も入れていただいた。情報を読み、書き、そろばんにまで高め、学部・学科の縦割りを越えてAIの学位プログラムを創設する取組の中で、大人が若者のサポーターに徹し、叡智を引き出すという心構えで、今後の成長戦略を推進していただきたい。

(茂木議員) 利用するかしないか、やるかやらないかが重要だ。たしかアインシュタインも成功の反対語は失敗ではない、やらないことだ、このように言っていたと思う。

よろしければ、お手元の案を未来投資会議の取りまとめとしたい。

(「異議なし」と声あり)

(茂木議員) それでは、そのようにさせていただく。

(報道関係者入室)

(茂木議員) それでは、総理から締めくくり発言をいただく。

(安倍議長) 本日、こうして骨太方針2018と未来投資戦略2018を取りまとめていただき、心から感謝申し上げます。

日本経済は、人手不足感が高まる中で、質・量の両面で人材を確保するとともに、生産性の向上により、その潜在成長率を高めていくことが急務となる。

少子高齢化による成長制約の壁を打ち破るため、人づくり革命で待機児童問題解消、幼児教育・高等教育の無償化等を明記するとともに、Society 5.0の実現に向けた生産性革命の具体策を明記した。

また、最大のチャレンジである働き方改革の実行・実現を明記している。一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材に関する新たな在留資格の創設などの方針も明記した。

さらに、財政健全化目標として、2025年度の国・地方を合わせたプライマリーバランス黒字化を明記している。

副題は「少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現」とした。

実行が大切である。茂木大臣を始めとする関係大臣には、よろしくをお願いしたい。

実行については、生産性革命の重点分野で産官協議会を設け、新たな若い世代の民間の叡智を取り込みつつ、政策形成を進めていく。

経済・財政一体改革については、新たな改革工程表を年末までにお示しする。

議員各位には、多大な御尽力をいただいたことに対して、改めて御礼申し上げ、また引き続きの御協力をよろしくをお願いしたい。

(報道関係者退室)

(茂木議員) 本日、この後の閣議において「骨太方針2018」と「未来投資戦略2018」を閣議決定する運びとなる。取りまとめに御尽力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。また、今後ともさまざまな形で御協力いただくが、どうぞよろしくお願いしたい。

以上で本日の会議を終了する。

(以上)